

男女共同参画・多文化共生に関する  
市民意識調査結果

<抜粋版>

【男女共同参画編】

令和2年度

湖西市

1. 調査概要.....	1
I 調査目的.....	1
II 調査設計.....	1
III 回収結果.....	1
IV 報告書をみる際の注意事項.....	1
2. 調査結果.....	2
<1. 結婚状況>.....	2
<2. 夫婦の就業状況>.....	2
<3. 『男女共同参画』の認知>.....	3
<5. 性別役割分担意識についての考え方>.....	4
<6. 家庭生活の平等感>.....	4
<7. 職場の平等感>.....	5
<8. 就職の平等感>.....	5
<9. 学校教育の場の平等感>.....	6
<10. 地域（自治会・PTA等）の平等感>.....	6
<11. 政治の場の平等感>.....	7
<12. 法律や制度上の平等感>.....	7
<13. 社会通念や慣習・しきたりの平等感>.....	8
<14. ドラマ・漫画・文化の平等感>.....	8
<15. 社会全体の平等感>.....	9
<16. 男女平等社会実現のために大切なこと>.....	10
<17. 男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきこと>.....	11
<18. 『ワーク・ライフ・バランス』の認知>.....	12
<19. セクハラ経験の有無>.....	13
<20. DV経験の有無>.....	14
<21. 『性的マイノリティ（LGBT）』の認知>.....	15

# 1. 調査概要

## I 調査目的

このアンケートは、市民の男女平等や男女共同参画社会の実現及び多文化共生に関する考えや意見をお聞きし、今後の計画推進の参考とするために実施しました。

## II 調査設計

調査対象：湖西市在住の18歳以上の男女

調査方法：郵送配布・郵送回収

抽出方法：無作為抽出

調査期間：令和2年6月18日（木）～令和2年7月8日（水）

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

## III 回収結果

発送数：1,500件

回収数：670件（無効票0件）

有効回収数：670件

有効回収率：44.7%

※無効票とは、回収されたが無記入あるいは記入が少ない調査票のことです。

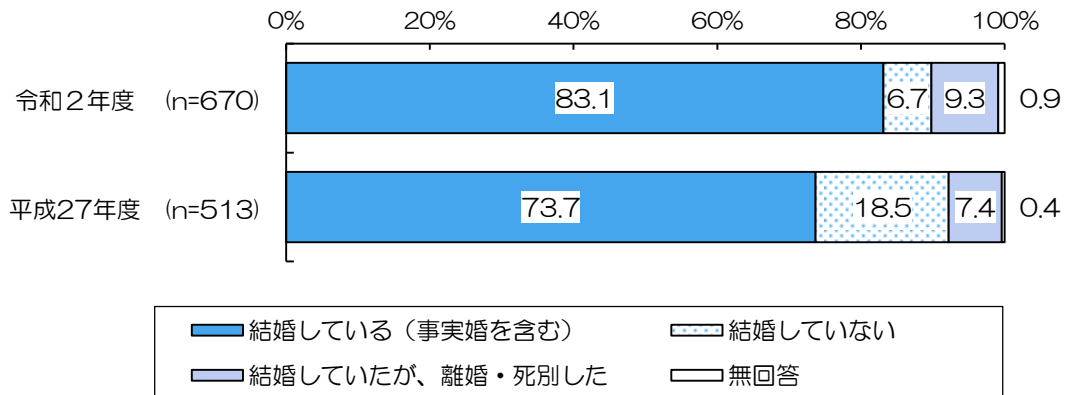
## IV 報告書を見る際の注意事項

- サンプルサイズはnとして記載し、回答比率はこれを100%として算出しています。
- 比率は百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答が可能な設問の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

## 2. 調査結果

### <1. 結婚状況>

問5 あなたは結婚していますか。(1つを選択)



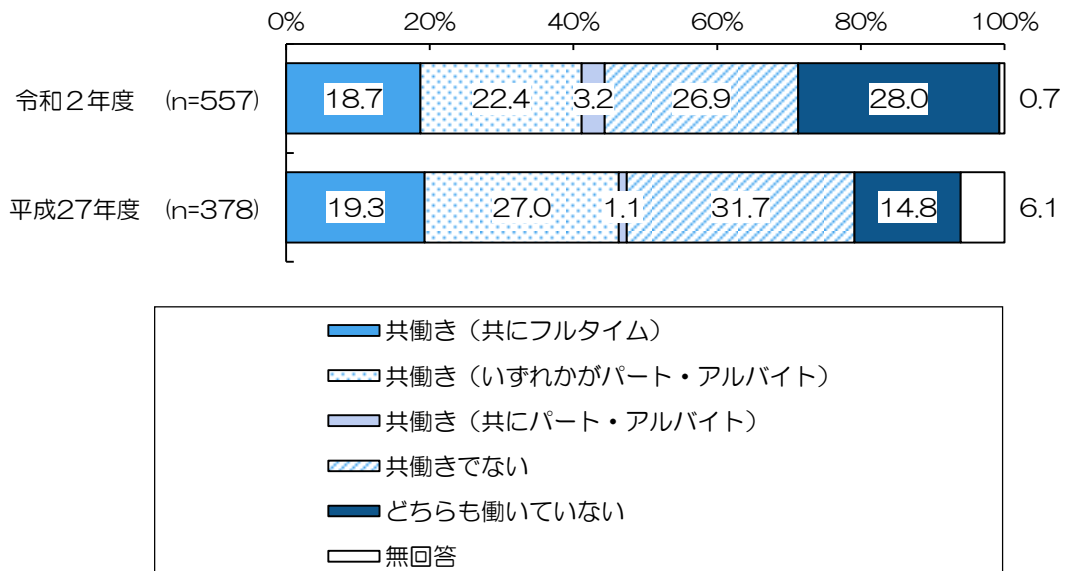
結婚状況は、「結婚している (事実婚を含む)」が83.1%、「結婚していない」が6.7%、「結婚していたが、離婚・死別した」が9.3%となっています。

平成27年度結果と比較すると、「結婚している (事実婚を含む)」が9.4ポイント多くなっています。また、「結婚していない」が11.8ポイント少なくなっています。

### <2. 夫婦の就業状況>

<問5で「1. 結婚している (事実婚を含む)」とお答えの方>

問6 現在、共働きをしていますか。(1つを選択)

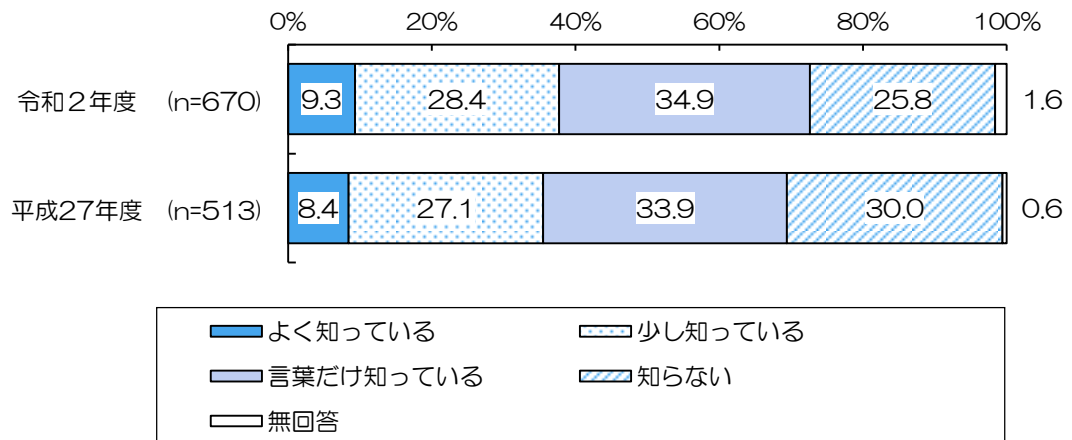


夫婦の就業状況は、「どちらも働いていない」が28.0%と最も多く、次いで「共働きでない」が26.9%、「共働き (いずれかがパート・アルバイト)」が22.4%などとなっています。

平成27年度結果と比較すると、「どちらも働いていない」が13.2ポイント多くなっています。

### <3. 『男女共同参画』の認知>

問9 『男女共同参画』という言葉・考え方についてどの程度知っていますか。(1つを選択)

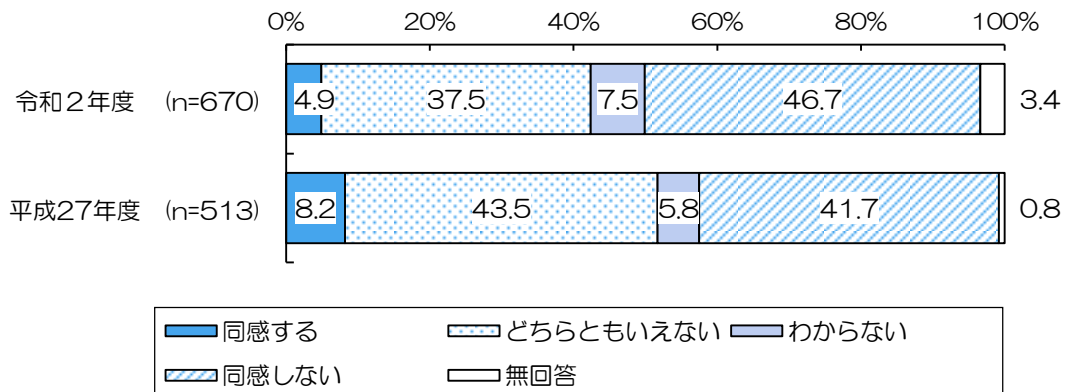


『男女共同参画』の認知は、「よく知っている」が9.3%、「少し知っている」が28.4%、「言葉だけ知っている」が34.9%、「知らない」が25.8%となっています。

平成27年度結果と比較すると、大きな変化は見られませんでした。

## <5. 性別役割分担意識についての考え方>

問13 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）

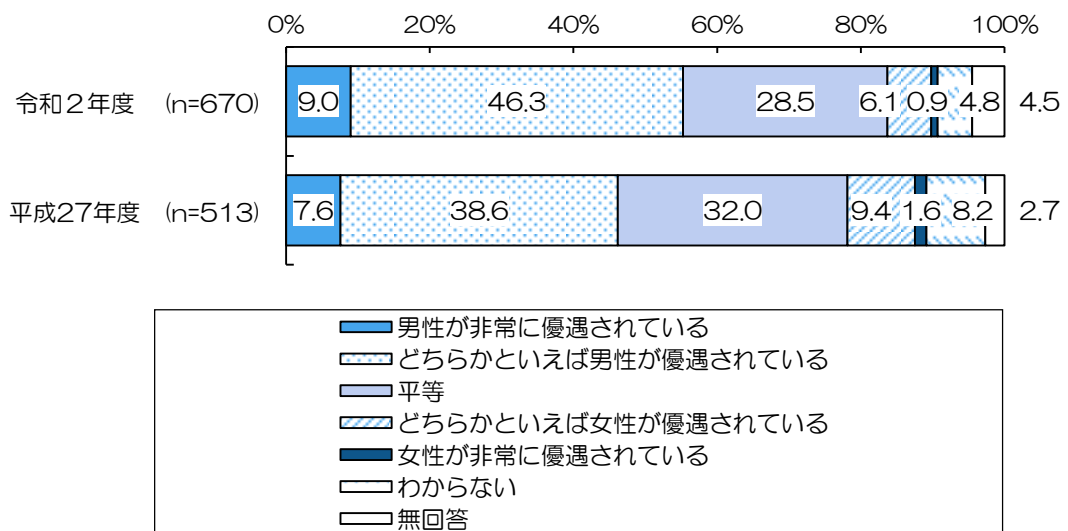


性別役割分担意識についての考え方は、「同意する」が4.9%、「どちらともいえない」が37.5%、「わからない」が7.5%、「同意しない」が46.7%となっています。  
平成27年度結果と比較すると、「どちらともいえない」が6.0ポイント少なくなっています。

## <6. 家庭生活の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。（それぞれ1つを選択）

### ①家庭生活

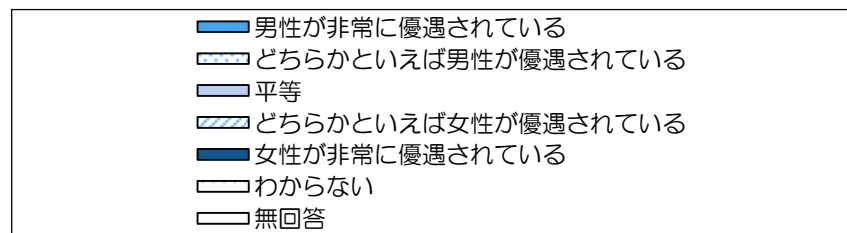
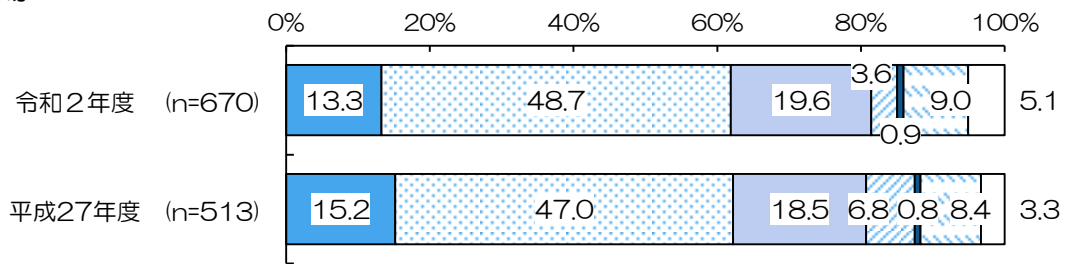


家庭生活の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が46.3%と最も多く、次いで「平等」が28.5%、「男性が非常に優遇されている」が9.0%などとなっています。  
平成27年度結果と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」が7.7ポイント多くなっています。

## <7. 職場の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ②職場

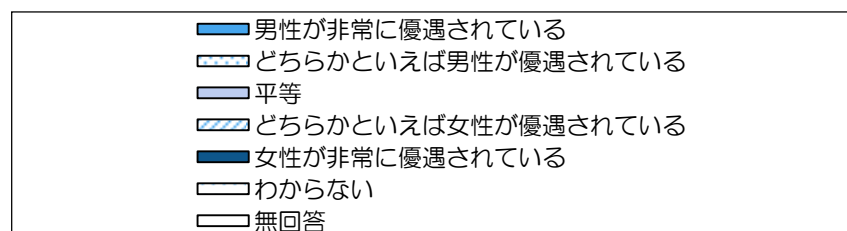
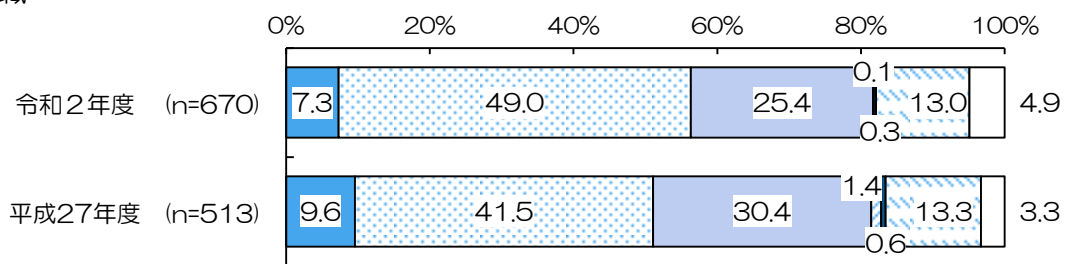


職場の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.7%と最も多く、次いで「平等」が19.6%、「男性が非常に優遇されている」が13.3%などとなっています。  
平成27年度結果と比較すると、大きな変化は見られませんでした。

## <8. 就職の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ③就職



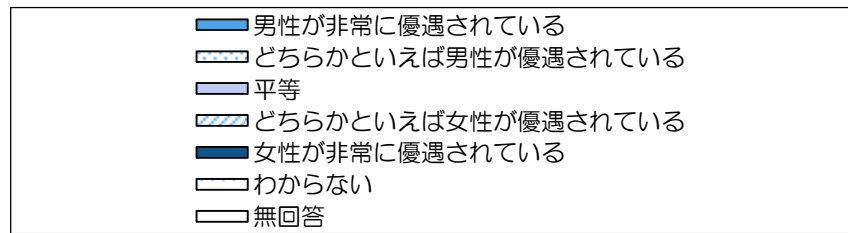
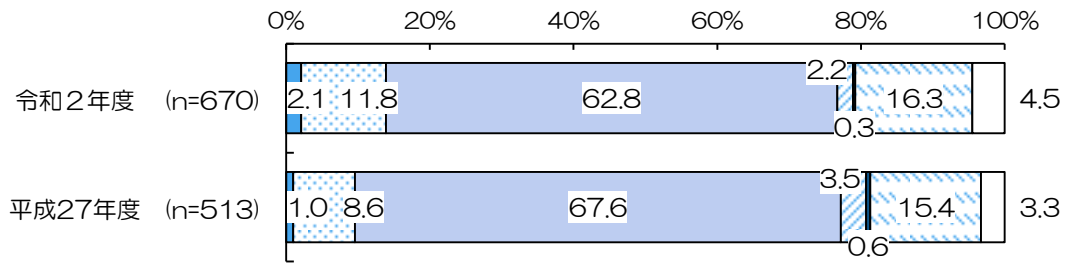
就職の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が49.0%と最も多く、次いで「平等」が25.4%、「わからない」が13.0%などとなっています。

平成27年度結果と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」が7.5ポイント多くなっています。

## ＜9. 学校教育の場の平等感＞

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ④学校教育の場

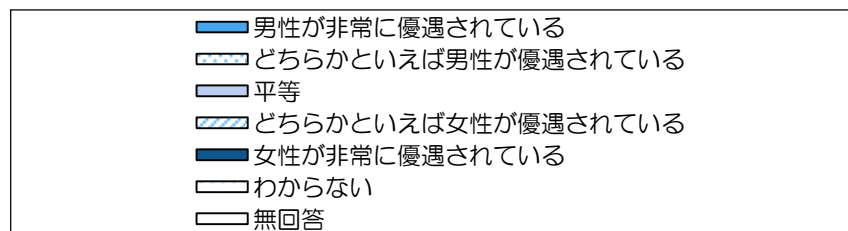
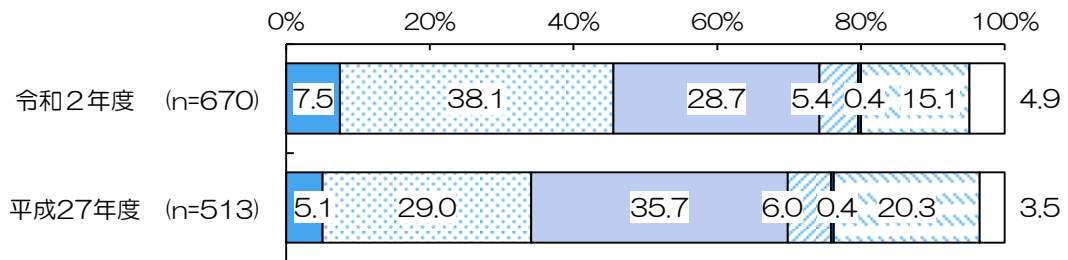


学校教育の場の平等感は、「平等」が62.8%と最も多く、次いで「わからない」が16.3%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が11.8%などとなっています。  
平成27年度結果と比較すると、大きな変化は見られませんでした。

## ＜10. 地域（自治会・PTA等）の平等感＞

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ⑤地域（自治会・PTA等）



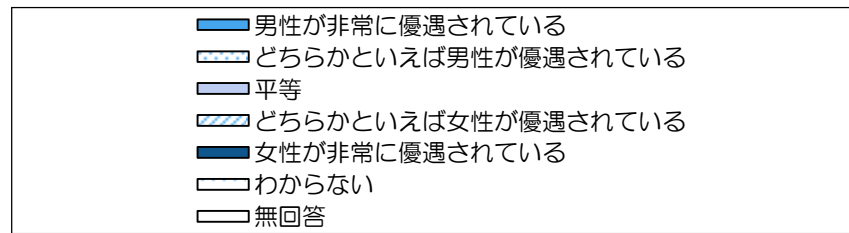
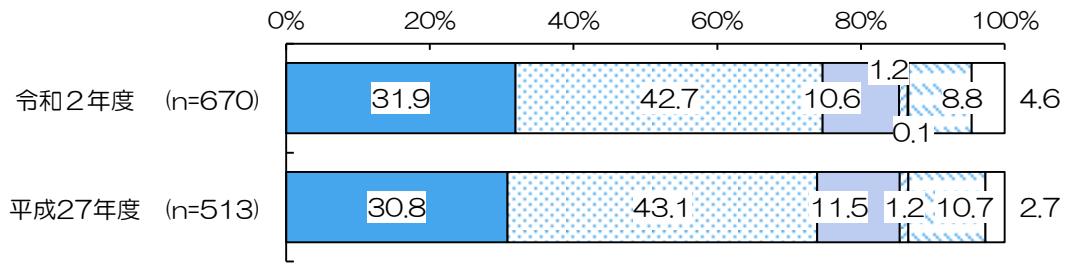
地域（自治会・PTA等）の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が38.1%と最も多く、次いで「平等」が28.7%、「わからない」が15.1%などとなっています。  
平成27年度結果と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」が9.1ポイント多くなっています。また、「平等」が7.0ポイント少なくなっています。



## <11. 政治の場の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ⑥政治の場

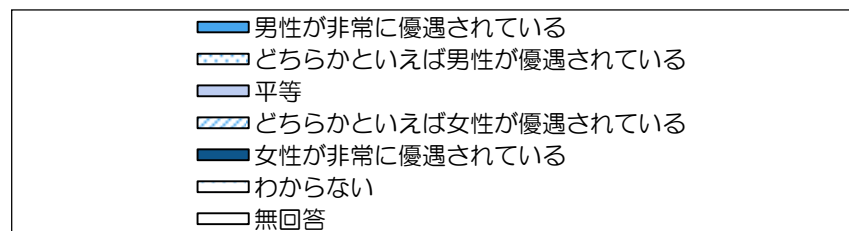
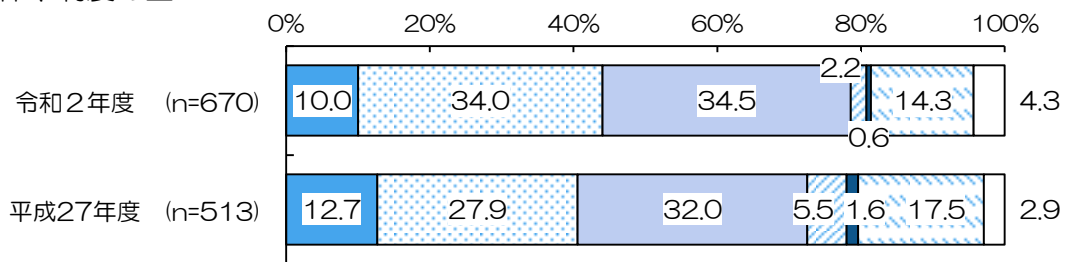


政治の場の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が42.7%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が31.9%、「平等」が10.6%などとなっています。  
平成27年度結果と比較すると、大きな変化は見られませんでした。

## <12. 法律や制度の上の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ⑦法律や制度の上



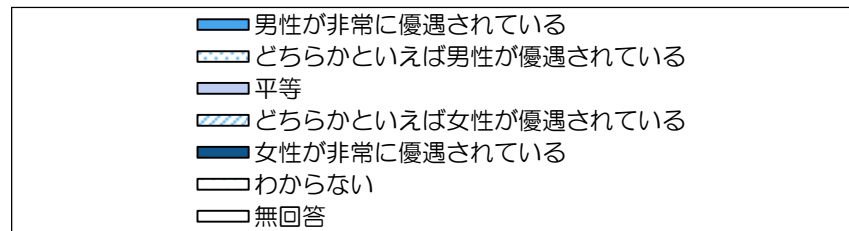
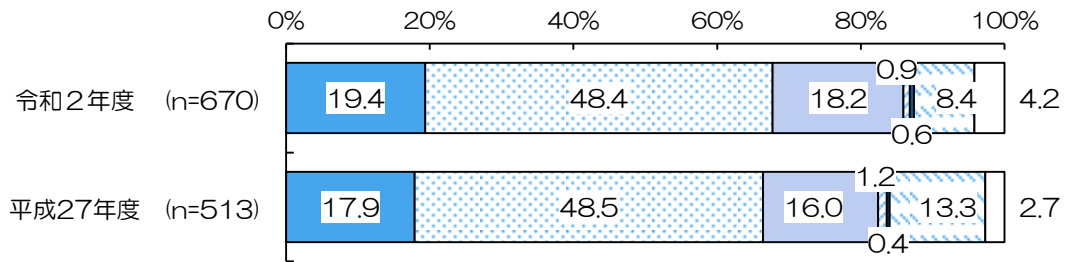
法律や制度の上の平等感、「平等」が34.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.0%、「わからない」が14.3%などとなっています。

平成27年度結果と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」が6.1ポイント多くなっています。

### <13. 社会通念や慣習・しきたりの平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

#### ⑧社会通念や慣習・しきたり



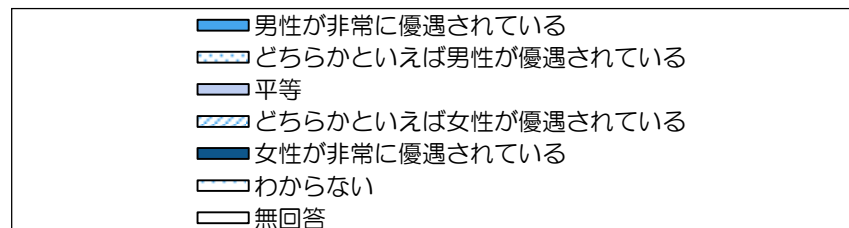
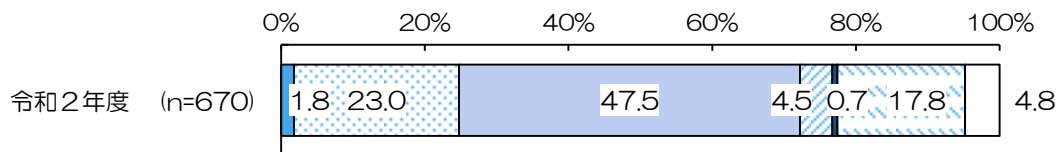
社会通念や慣習・しきたりの平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.4%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が19.4%、「平等」が18.2%などとなっています。

平成27年度結果と比較すると、大きな変化は見られませんでした。

### <14. ドラマ・漫画・文化の平等感>

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

#### ⑨ドラマ・漫画・文化

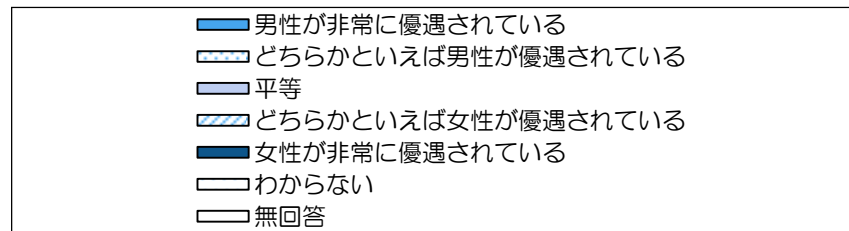
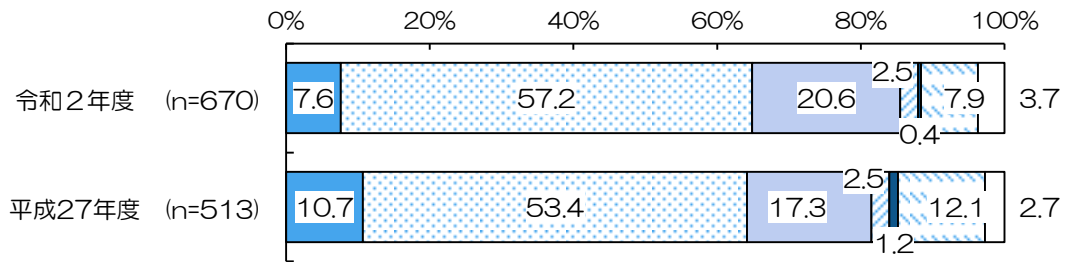


ドラマ・漫画・文化の平等感は、「平等」が47.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が23.0%、「わからない」が17.8%などとなっています。

## <15. 社会全体の平等感>

問14 あなたは、次のことについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
(それぞれ1つを選択)

### ⑩社会全体



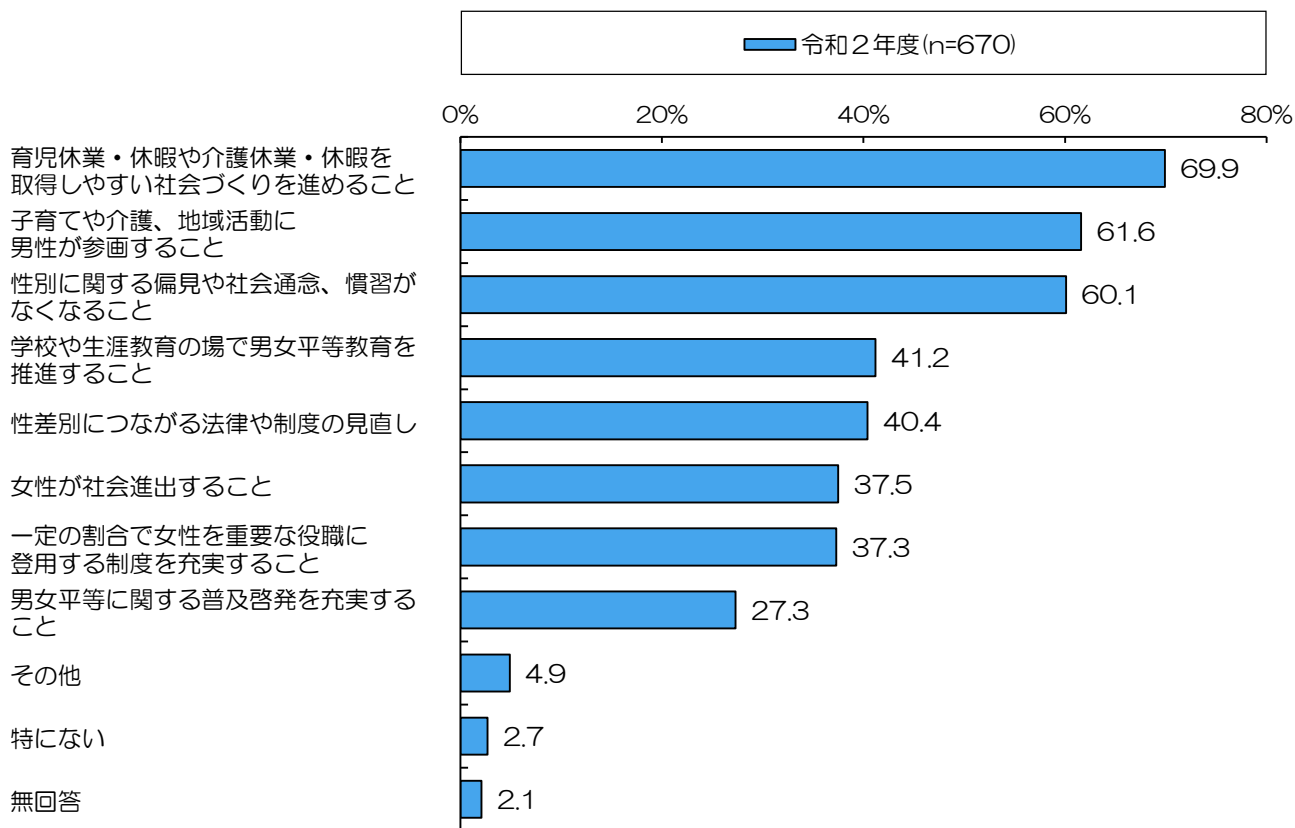
社会全体の平等感は、「どちらかといえば男性が優遇されている」が57.2%と最も多く、次いで「平等」が20.6%、「わからない」が7.9%などとなっています。

平成27年度結果と比較すると、大きな変化は見られませんでした。

## <16. 男女平等社会実現のために大切なこと>

問15 男女平等社会を実現するために大切だと思うことはどのようなことですか。

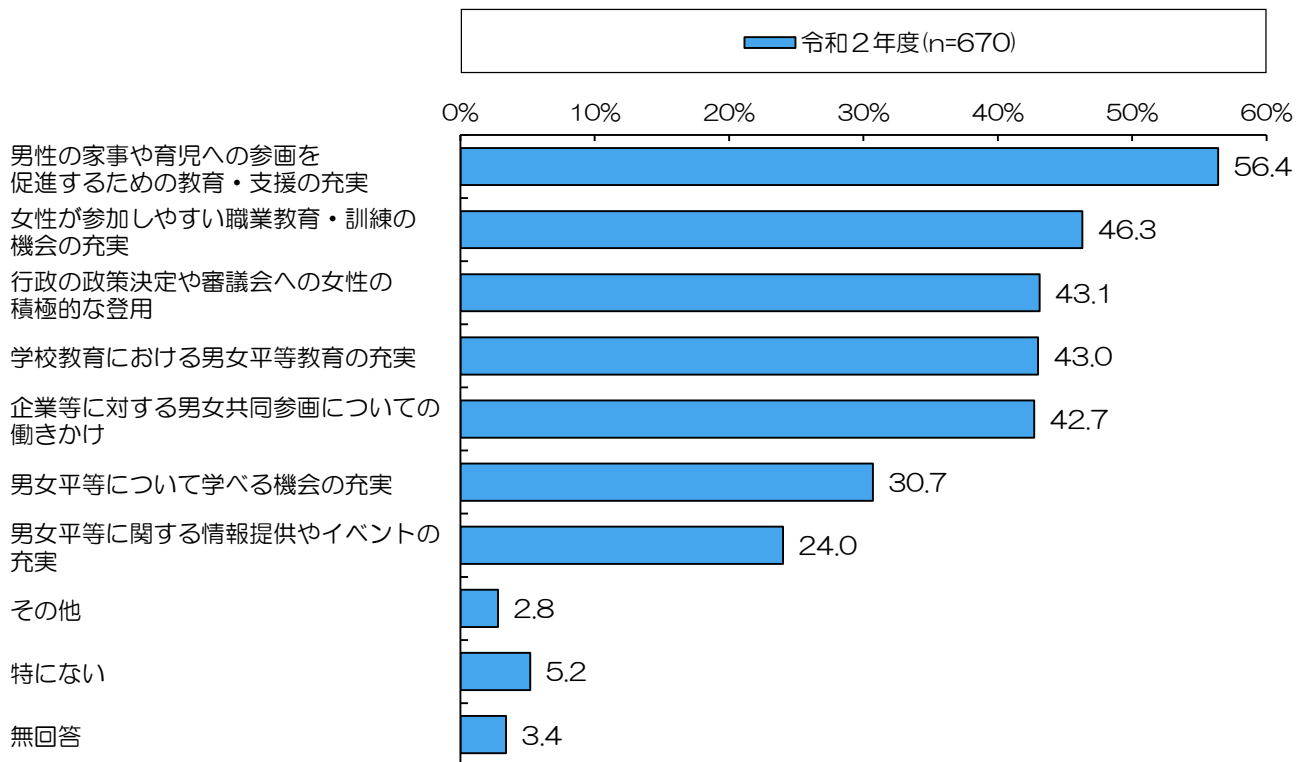
(あてはまるもの全て選択可)



男女平等社会実現のために大切なことは、「育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること」が69.9%と最も多く、次いで「子育てや介護、地域活動に男性が参画すること」が61.6%、「性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること」が60.1%などとなっています。

## <17. 男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきこと>

問16 男女平等社会の実現を図るために、今後、行政はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(あてはまるもの全て選択可)

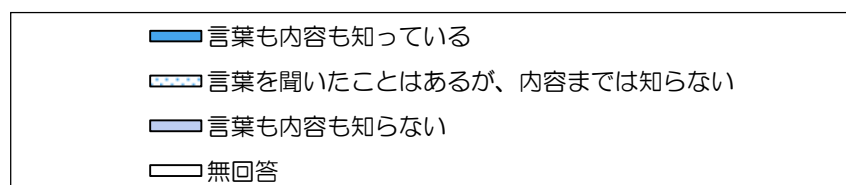
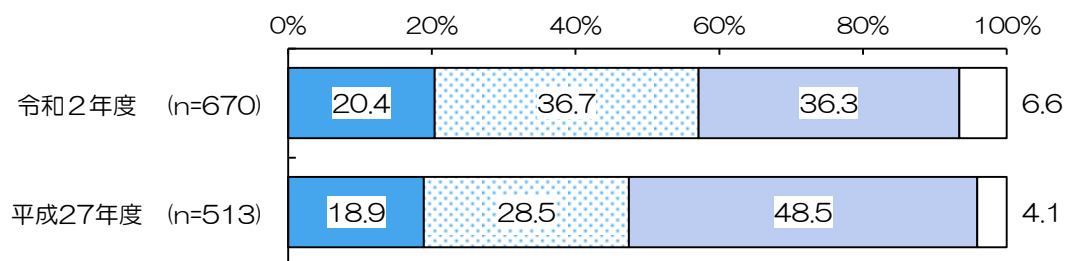


男女平等社会実現のために行政が力を入れるべきことは、「男性の家事や育児への参画を促進するための教育・支援の充実」が56.4%と最も多く、次いで「女性が参加しやすい職業教育・訓練の機会の充実」が46.3%、「行政の政策決定や審議会への女性の積極的な登用」が43.1%などとなっています。

## ＜18. 『ワーク・ライフ・バランス』の認知＞

問22 あなたはワーク・ライフ・バランスという言葉をご存じですか。

(1つを選択)



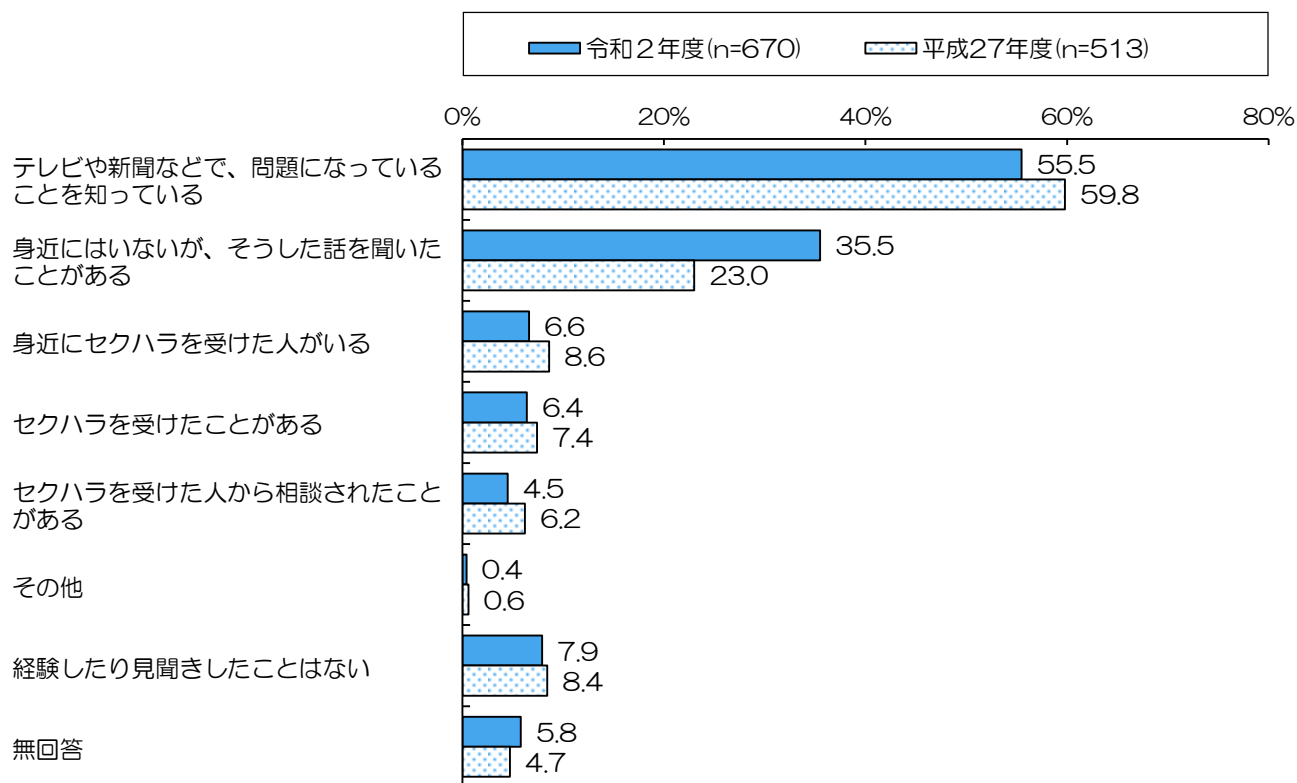
『ワーク・ライフ・バランス』の認知は、「言葉も内容も知っている」が20.4%、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が36.7%、「言葉も内容も知らない」が36.3%となっています。

平成27年度結果と比較すると、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が8.2ポイント多くなっています。また、「言葉も内容も知らない」が12.2ポイント少なくなっています。

## <19. セクハラ経験の有無>

問24 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ・性的嫌がらせ）について経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）



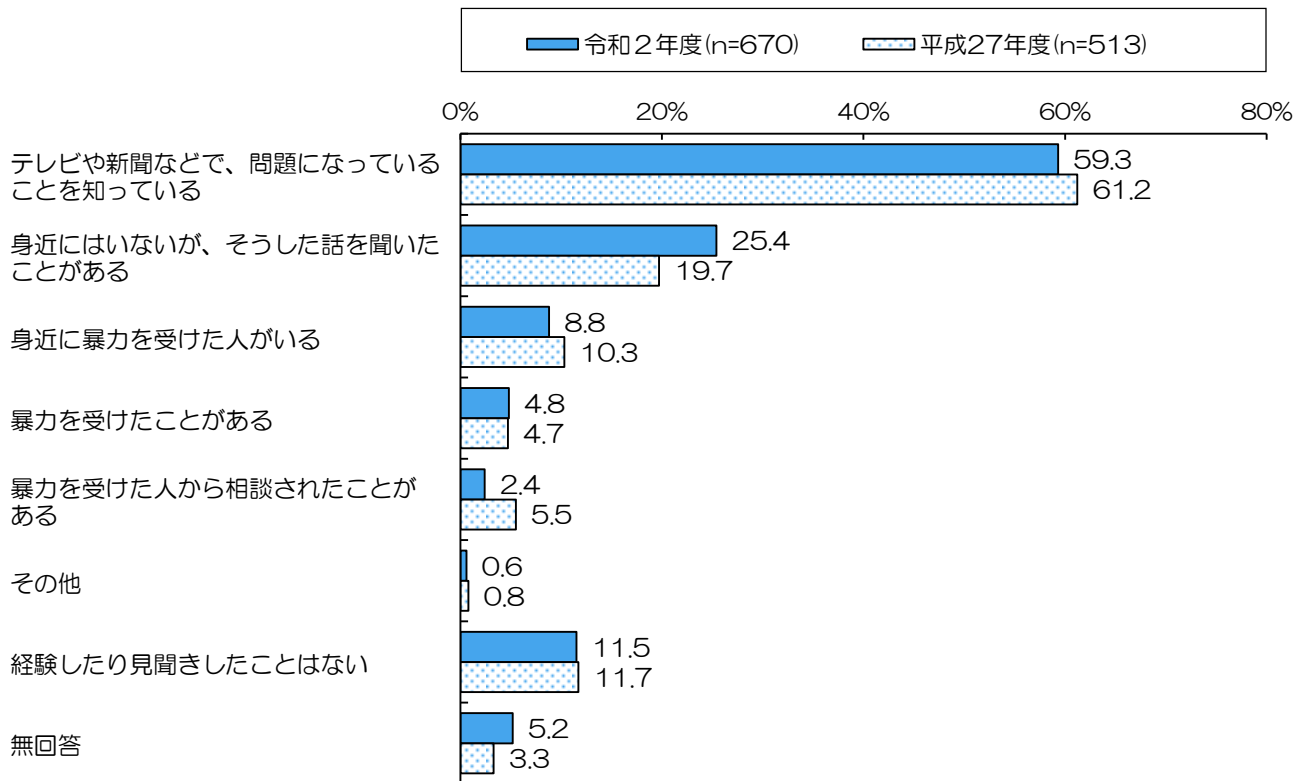
セクハラ経験の有無は、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が55.5%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が35.5%、「身近にセクハラを受けた人がいる」が6.6%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が7.9%となっています。

平成27年度結果と比較すると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が12.5ポイント多くなっています。

## 〈20. DV経験の有無〉

問26 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある男女間の暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。

（あてはまるもの全て選択可）



DV経験の有無は、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が59.3%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が25.4%、「身近に暴力を受けた人がいる」が8.8%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が11.5%となっています。

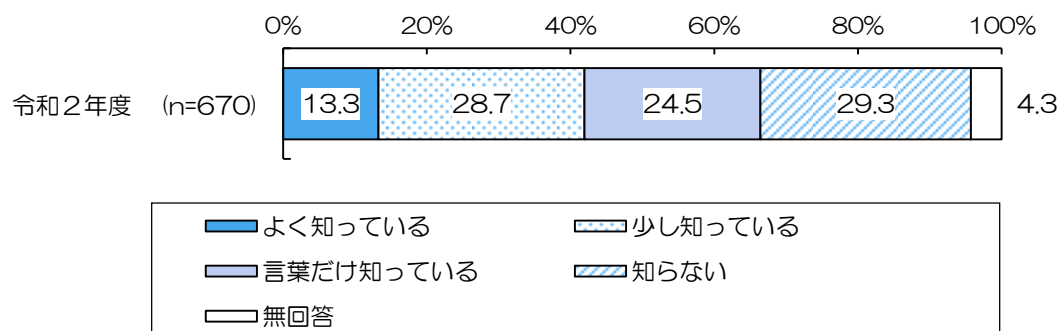
平成27年度結果と比較すると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が5.7ポイント多くなっています。



## <21. 『性的マイノリティ（LGBT）』の認知>

問29 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

（1つを選択）



『性的マイノリティ（LGBT）』の認知は、「よく知っている」が13.3%、「少し知っている」が28.7%、「言葉だけ知っている」が24.5%、「知らない」が29.3%となっています。